



保護者の部



世界一幸せなお父さんで賞

幸せな鬼ごっこ

わが家は五人家族です。大きなベッドを並べてみんな
で寝ていますが、子供達の寝相が悪くお父さんはベッド
の下に一枚布団を敷いて寝ることも多くあります。お父
さんが大好きな子供達は夜中に起きるとお父さんの布団
に潜り込みます。眠れる場所を求めてお父さんはベッド
に行ったり布団に行ったり。「もう〜!」と言いつつ毎朝
嬉しそうに起きてくるお父さん。世界一幸せな鬼ごっこ
です。



東十郷小学校 保護者 吉村 恵 さん



お利口さんのお姉ちゃんで賞

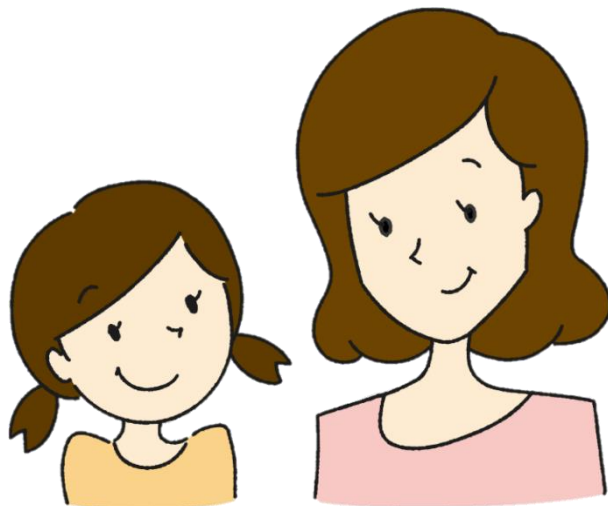
いつもありがとう

私には、3人の子どもがいます。長女と下の2人は歳が離れているので、どうしても小さい2人を優先してしまう事が多く、お姉ちゃんは自分から譲り、ぐっと我慢をしてくれています。子どもたちには平等に接したいという反面、うまくいかないことの方が多く、諦め交じりに我慢しているお姉ちゃん表情を見ると胸がしめるけられる思いです。いつもごめんね、ありがとう。あなたのこともちゃんと見ているよ。この気持ちに伝わっているかな。

東十郷小学校 保護者 達川 はるな さん

補助説明

娘の日記を日記を読み、アンサーとして書いてみました。



◆ 一番のお祝いメールで賞 ◆

産まれて良かったな

約十二年ぶりに出産することになった日。お兄ちゃんになる子供達から陣痛の中、何度もメールが届きました。「産まれたんか?」「赤ちゃん産まれる?」「いつぐらいに産まれる?」「無事に弟が生まれ、写真を送り私自身がほっとしたその時にまた一通のメールが。「産まれて良かったな。」子供達からのこの時のメールは私の一番のお祝いとなりました。



坂井中学校 保護者 田崎 佳江 さん



◆ 疲れも吹き飛ばし、いいいいいいで賞 ◆

いいいいいいいい



毎日、バタバタと過ぎていく中、寝る前は娘の頭を撫でながら、その日の出来事などを話します。そんなある日、布団に入り、四歳の次女に「今日もバタバタしてたね。一緒に遊べなくてごめんね。」と言うと、「ママ、お礼口さん。いいいいいいいいしてあげる。」と言って、小さな手で私の頭を撫でながら娘は眠りにつきました。何とも言えない温かい気持ちになり、私の疲れは一瞬にしてとんでいきました。

兵庫小学校 保護者 清水 樹理 さん



大好き返信メールで頑張れるで賞

東十郷小学校 保護者 R・N さん

おかえり

仕事の時や、お兄ちゃんの習い事の時は一人にさせてしまっていてごめんね。本当は、お顔を見て「おかえり」ってギョウしたいよ。メールで「帰ってきた？大丈夫かな？」って確認すると、いつも「大丈夫、大好き大好き大好き」って返信してくれてありがとう。母ちゃんはその言葉で離れていても頑張れるよ。



待望の裁縫男子誕生で賞

東十郷小学校 保護者 M・I さん

裁縫男子が爆誕

家庭科で裁縫が始まったAさんが何かを縫いたいと言うので、姉がちよっと手を付けて放置だった手作りのティッシュカバーキットを渡しました。穴を通らない糸、結べない玉結びを経て、ようやく習ったばかりの半返し縫いにとりかかると、要らんところで絡まる糸。悪戦苦闘していると気づけば一センチ間隔のくねくね道ですが、四辺が縫えました。ボタンを付けて一日で見事に完成。

審査員より

初めての裁縫にチャレンジする息子を応援するも、随分と根気強く付き合ったはず。頑張ってるやりの抜いた我が子の成長は嬉しいですね。ティッシュカバー、宝物です。



心配性のお父さんで賞

東十郷小学校 保護者 T・M さん

父は心配症？

ある日、外で遊んでいた娘が腕から血を流し、泣きながら帰ってきた。真っ赤な血に気持ちは焦るが、どうしていいか分からない！すぐに病院に走った！。診察の結果、ただのすり傷で、きれいに消毒して帰ってきた。妻は心配しすぎと言うが、家族は自分の宝物。少しぐらい心配症でもいいだろう。



家族みんなの愛され猫ちゃんで賞

東十郷小学校 保護者 H・T さん

灰色の猫は憎めない



私の家には猫が三匹います。その中で「サンタ」という灰色の猫はとても食いしん坊です。この間、私のお蕎麦を少し食べられました。すごく悔しかったです。妻は麵つゆを彼に舐められました。息子はチーズを狙われました。人間の食べ物猫の身体にはよくありません。だから、サンタは高血圧で動物病院のお世話になっています。しかし、私達は彼を憎むことができません。なぜなら、彼が丸まって寝ている姿が愛らしく癒されるからです。

審査員より

猫も大切な家族の一員。ともに時間を過ごし暮らしていく中で、いなくてはならない存在になっています。みんなのサンタさんが健康で長生きをできるように。



「親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール」に関する三行詩 より

「いってらっしゃい」門に立って送り出す
でもすぐに家には入らない あの角で
あなたがもう一度振り返るのを 知って
いるから

岐阜県海津市 加藤寿子さん

“パパの代わり、頼んだよ” そう書き
残し出張へ 「今日から僕がパパだ
よ。」 そう言う息子が大きく見えた

兵庫県 栃尾安奈さん

偏食は、かあちゃんが許さない。
過食は、ばあちゃんが許さない。
「孤食」は、家族が許さない。

青森県下北郡 千吉良 岳さん

